

教科書検定における申請図書デジタルデータの提出について

教科書検定における審査業務の標準化等のため、検定の申請に当たり、紙の申請図書に加え、申請図書のデジタルデータ（PDF を指す。以下「図書データ」という。）を提出すること。

1. 提出方法

以下のいずれかの方法による。

- (1) 「教科書検定システム (MTAS)」(以下システムという。) にアップロード。
- (2) 文部科学省のデータ授受用のシステム又は電磁的記録媒体による提出。

2. 図書データの仕様

提出する図書データは、以下の仕様により作成すること。

- (1) 申請図書原本の PDF ファイルとする。
- (2) 1 図書のファイルは原則 1 ファイルとする。ただし、1 ファイルが 1GB を越える場合は、ファイルを分割すること。
- (3) 図書 1 ページあたり PDF ファイル 1 ページ(見開きページにしない) とすること。
- (4) 細則第 1(2)①アに示す表紙をつけず表見返し、本文、裏見返しの順とし、折込ページなど本文中に連番ではないページがある場合は裏見返しの後につけること。なお、表見返し以降のページ数にずれが生じないよう、扉・奥付にあたるページは白色としてつけること。
- (5) 原則 3 階層目までしおり機能を使って目次をつけること。
- (6) 編集用のネイティブデータを原則として PDF/X-4 に書き出して作成すること。(PDF/X-4 での作成が不可能な場合は PDF/X-1 も可とする。) フリーソフトによる変換や印刷物のスキャンデータは不可とする。
- (7) PDF ファイル内の文字は原則テキストデータとしフォントは埋込とする。
- (8) 解像度はおおむね 200～350dpi 程度とすること。
- (9) 文書のプロパティ情報は全て削除すること。
- (10) 各ページの非表示情報は全て削除すること。
- (11) 申請者においてセキュリティ設定を行わないこと。

3. 留意点

提出方法(2)により提出する場合は、PDF データのファイル名を「(申請図書番号) + “_” + (分冊番号) + “_申請図書_” + (年月日 yyyyymmdd 形式) + “_” + (ファイル分割番号) “.” + (拡張子)」とすること。

例：①分冊なし、ファイルを 2 分割にして提出する場合

「XXX-XXX_1_申請図書_202XXXXX_1. pdf」

②分冊あり (分冊数 2)、ファイルを 3 分割にして提出する場合

「XXX-XXX_1_申請図書_202XXXXX_1. pdf」

「XXX-XXX_1_申請図書_202XXXXX_2. pdf」

「XXX-XXX_2_申請図書_202XXXXX_3. pdf」

4. 提出期間

図書データの提出時限については、申請図書を提出した日の翌日から起算して 35 日以内とする。